

クラブハウスは地域へのスポークスマン （はごろもスポーツクラブ・沖縄県宜野湾市）

1. 大通りに面したクラブハウスで抜群のPR効果

市体育指導委員協議会長（当時）の谷畑 誠氏（現クラブ会長）がキーマンとなり、市社会体育指導委員と地域リーダーの協力で「地域活性化と地域スポーツ環境づくり」を主テーマに取り組んだのが、設立3年目の「はごろも（羽衣）スポーツクラブ」（以下、はごろもSC）です。

クラブハウスの規模は約40㎡で、給湯室、シャワールーム、会議スペース等を備え、恵まれた条件が確保されています。街の大通りに面しているので、PR効果が非常に大きいことが何よりの特徴です。

クラブハウスはクラブの顔だと言われますが、はごろもSCのクラブハウスの表通りにはのぼり旗が常時掲げられ、道行く人々に総合型地域スポーツクラブはごろもSCの名前のPRと、楽しいクラブ活動への参加を視覚的に呼びかけています。各教室のチラシ掲示も表通りから見えやすいように工夫されています。このような広報効果は着実に拡がり、非会員の各教室参加が増え、クラブ会員数増加へと結実しています。



2. 喜びを分かち合う「心の拠り所」

このようにクラブハウスは、クラブと地域との双方向コミュニケーションを図る窓口としての役割と同時に、見事にクラブ情報を発信するスポークスマンの役割を果たしています。

クラブハウスに足を運ぶと、セルフサービスの小さな喫茶コーナーがあり、実にアットホームな雰囲気に満ち、クラブ会員の和やかな談笑が充実したクラブ活動の楽しさを伝えてくれます。クラブハウスはクラブ会員にとって憩いと交流の拠点だけでなく、クラブ活動の喜びを分かち合う大切な心の拠り所にもなっています。



3. 「支え合う関係」を表出するクラブハウス

クラブハウスは民間の施設を使っています。学童クラブ教室としての使用后、しばらく空き部屋になっていましたが、クラブ設立を機にクラブハウスとして生まれ変わりました。はごろもSCの地域スポーツ振興に対する頑張りや評価してくれた建物所有者の理解と配慮で、借料も廉価です。維持経費もクラブ関係者等の協力で運営されています。

クラブハウスがこのように地域の支えで確保できていることは、クラブと地域の信頼関係のおかげです。「クラブと地域が支え合う関係」の醸成は、スタッフ・会員の地道な活動努力と地域への想いがあってのことです。クラブハウスにはクラブ活動の様態がよく見えます。

4. 協働・共有のクラブハウス構想

「総合型地域スポーツクラブ」の認知度はまだまだ低く、活動を地域に理解・浸透させるためにはクラブハウスの存在の果たす役割は大きく、その設置はとても重要です。はごろもSCのように、小規模のクラブハウスでも熱意と発信力で大きな存在感を示すことができます。

全てのクラブがクラブハウスを持つことが理想ですが、現実には容易ではありません。同一地区に複数のクラブがある場合は、協働・共有のクラブハウス設置を提案します。クラブ同志の連携と補完関係を築くことが、相互の活動をより深化・充実させ、活動を発展させていくと思います。多くのクラブが「クラブの顔」としてのクラブハウスを設置し、「心の拠り所」化がなされることを期待しています。

(仲里 健 沖縄県クラブ育成アドバイザー)

【はごろもスポーツクラブ プロフィール】

1. 設立

設立年:平成20年10月

経緯:市体育指導員が中心となり、平成18,19年度指定クラブとして、3種目の小さなサークル活動を母体に取組んだ

2. 地域(平成22年6月現在)

人口:宜野湾市 約93,000人

地区人口(真栄原)8,634人、世帯数3,530。市内で2番目に大きい規模の自治会

特性:商業地で、全国的に話題になっている「米軍普天間基地」に隣接

3. クラブ(平成22年6月現在)

会員数:304名

予算規模:500万円(平成22年度)

活動種目:バドミントン、インディアカ、ソフトミニバレー、ウォーキング・ソフトボール、少年野球、サッカー、陸上、卓球

4. 連絡先

〒901-2215 沖縄県宜野湾市真栄原1-13-3

TEL・FAX:098-897-2151 E-mail:maesoko@southernx.ne.jp

HP:平成22年度中に開設予定